

Library News

ライブラリーニュース

Vol.21 No.4

広島修道大学図書館

●特集

ビブリオバトル 首都決戦2013の 地区予選大会を 開催しました



Contents

- 2 **巻頭エッセイ**
新3号館完成と人文学部
40周年を記念して
.....狩谷 あゆみ
- 3 **リレーエッセイ(71)**
未来の図書館に向けて
～「第15回図書館総合展」に参加して～
.....富永 あゆみ
- 4 **特集**
ビブリオバトル首都決戦2013の
地区予選大会を開催しました
- 6 Book Hunting 2013を行いました
- 7 **Library Information**
春季休暇中の長期貸出について 他
- 8 **こんな本がやってきました(No.32)**
2階参考図書のコナーを知っていますか?

新3号館完成と 人文学部40周年を記念して

狩谷
あゆみ



今年10月に新3号館が竣工しました。新3号館は、大教室と教員・大学院研究室を併せ持っており、隣の図書館と統一感のあるデザインで、新しい教育・研究の拠点になるにふさわしい建物となっています。着々と進む工事の中、第一研究棟の教員は、授業や他の業務の合間に引越の準備を行わなければならない、大忙しでした。引越を控えた教員にとって、新3号館完成はいよいよ引越本番を意味しており、まるで論文の締切りに追われるかのように、「準備できました?」「まだまだです」などと進行状況を教員間で確認しあっていました。

長年使ってきた研究室の引越は大変でしたが、本や研究資料の整理整頓ができたので、結果的に良かったと思っています。というのも、荷造りしながら本棚の隅々から出てくるのは、購入したものの、恥ずかしながら読んでいない本の数々です。もちろんすぐに読んだ本もあるのですが、多くが並べているだけという状態でした。研究室を訪れた学生から「先生、この本全部読んだ?」と聞かれることがしばしばありました。そのたびに「研究に関する本や資料は、読んだかどうかではなく、所有していることに意味がある」などと答えていました。社会学の古典を集めたシリーズ本、犯罪や貧困といった社会問題、グローバリゼーション、エスニシティ、性・ジェンダー関連、建築やファッション、音楽や映画に関するものなど…。社会学関連の文献は、「趣味で集めた本もあるのでは?」と思われるのですが、衣食住を含め、人々の生活に関する様々な社会現象が研究の対象となるため、このような本も資料として必要なのです。特にファッション（流行）に関する研究は、ジンメルなどの社会学者によって古くから行われてきました。どんな本があるのか興味がある人は、毎年「学生用選定図書」として、図書館に学生が関心を持ちそうなテーマに関する文献を紹介していますので、ぜひ、OPACを利用し、上記のカテゴリーで検索してみてください。きっとすぐに読んでみたくなる、もしくは演習や卒業論文・卒業研究で参考にしたいと思うような本に出会えると思います。

このように、新3号館への引越をきっかけとして、本棚に埋もれていた本との「再会」を果たすことができました。新しい研究室の本棚に、ジャンルごとに分けて本を並べているうち、「これも読まなければ」「次の授業で使おう」などと、教育・研究に対するモチベーションが高まり、大変だった引越の記憶はすっかり薄れてしまいました。学生の中には、貸出期限が迫り、図書館で借りた本を読まずに返してしまう人も少なくないと思うのですが、書店や図書館で（教員の場合は研究室でも）、本棚に並んでいる本を眺めている瞬間は至福のときではないでしょうか。もちろん、図書館の本は読んでから返却する、購入した本は全て読むのが理想的ではありますが。

さて「再会」といえば、人文学部は今年40周年を迎え、11月9日に新3号館と食堂・アルカディアを会場に40周年記念イベントが行われました。そこで何人かの卒業生と「再会」することができました。雰囲気は変わらないものの、すっかり立派になった姿に感動しました。卒業生の一人から「図書館を案内してほしい」と言われ、プログラムの合間に館内を案内しました。在学中、現在の図書館は建設中で、結局利用しないまま卒業したそうです。彼女は「学生時代はそれほど本に興味はなかったけど、就職してから勉強したいことだらけで」「大学の図書館を利用したいけど、仕事が忙しくて」と言っていました。確かに、時間のある学生時代には、どんな本を読んだらいいのか分からないものの、仕事や家事に追われるようになって初めて、本を読むことの素晴らしさに気づくものなのかもしれません。近年、学生の貸出冊数の減少が嘆かれています。卒業後、大学に立ち寄ったときに利用する。そんな図書館の利用方法も良いものだと思います。



(カリヤ アユミ 人文学部教授)



未来の図書館に向けて ～「第15回図書館総合展」に参加して～

富永あゆみ

10月28日から11月1日の5日間、パシフィコ横浜で「第15回図書館総合展」が開催された。「図書館総合展」とは、図書館を使う人、図書館で働く人、図書館に関わる仕事をしている人達が、「図書館の今後」について考え、「新たなパートナーシップ」を築いていく場であり、図書館にまつわる80以上の様々なフォーラム、また100余りの多様な団体・企業による企画展示が行われた。その中で、①生涯学び続け、主体的に考える力を育成する取り組み実践事例紹介 ②アウトソーシング導入の先に見えるもの ③立教大学池袋図書館開館から1年—本気で勉強したくなる図書館を目指して— ④スマートデバイスと外部サービス活用による情報発信力強化 ⑤The University Library of the Future—大学図書館の未来—の5つのフォーラムに参加した。

図書館は今、大きく変化しつつあり、大学のミッションの達成に大学図書館がどう貢献できるかが重要な課題となっており、図書館は、学生や教員に対して単なる教育・研究の支援を目的とする受け身の立場ではなく、学生や教員と図書館内外で積極的に関わっていかねばならない時代になってきている。

昨今、アクティブラーニングという言葉をよく耳にするが、そのためのスペースが、本学にも今年4月に開設されたラーニング・コモンズである。ラーニング・コモンズは、学生が共同で、協力して自分たちで考え、行動し、その成果を多くの人と共有し、ともに成長するためのスペースであり、学生たちは主体的に授業やあるテーマについてデザインし、プロジェクトしながら問題解決し、経験を積み重ねていくこと目的としている。現在では、210もの大学がラーニング・コモンズを設置しており、もはや、「ラーニング・コモンズがあるかないか」ではなく、「ラーニング・コモンズでどのように学習支援ができていくか」が問われている。

①のフォーラムでお話を伺った、立教大学のラーニング・スクエアと関西学院大学のアカデミックコモンズは、どちらも学生が主体となって行う「プロジェクト学習の場」であるという位置づけは同じであるが、前者が、「授業としてのプロジェクト学習」であるのに対し、後者は、「課外活動としてのプロジェクト学習」である、という違いがある。前者は、あくまでも授業が主体であり、学部教育とのコラボによって図書館が生きるという考

えであるのに対し、後者は、学生がデザインし、プロジェクトを進めていながら経験を積み、成長していくという考えである。「学生の学生による学生のための生きた学びの場」であり、その本質は、「成果をより多くの人に知ってもらい共有することの重要性を体感できる場所」なのである。

さて、本学のラーニング・コモンズの役割・ミッションはいかなるものであろうか。シンポジウムの中でイエール大学図書館長が、「大学は多様であり、それぞれの図書館の置かれた立場で考えるしかない。」と言われておられたが、まさにそのとおりであると思う。

学生が図書館に何を求めているのかをハード・ソフトの両面でデザインし、学生が自ら答えを導きだすことを目的とし、本気で勉強したくなる図書館を目指し、変化し続ける未来の図書館に向かって、順応に自分たちのミッションを達成すべく進んでいくことが必要なのではないだろうか。

(トミナガ アユミ 情報管理係)



知的書評合戦

「ビブリオバトル」首都決戦2013の地区予選大会を開催しました

10月17日(木)、本学を予選会場として、6名のバトルによる書評合戦が繰り広げられました。ビブリオバトル初開催ということもあり、緊張感もあったと思いますがそれぞれバトルの個性が出た内容の濃い大会になりました。近年全国各地で広がり、読書機運・プレゼンテーション技能の向上等さまざまな効果が期待されているビブリオバトル。この機会にまずはやり方、そして楽しみ方を知っていただければ、あなたと本との世界がどんどん広がることでしょう。



ビブリオバトルとは?

ビブリオバトル(知的書評合戦)は誰でも(小学生から大人まで)開催できる本の紹介コミュニケーションゲームです。「人を通して本を知る。本を通して人を知る」をキャッチコピーに日本全国に広がっています!

ビブリオバトル 公式ルール



- 1 発表参加者が読んで面白かった本を持って集まる。
- 2 順番に一人5分間で本を紹介する。
- 3 それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2~3分行う。
- 4 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか?」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを「チャンプ本」とする。



バトルの皆さん & 紹介本



書名 ジーキル博士とハイド氏
編著者名 スティーヴンソン作; 岩田良吉訳
出版社 岩波書店(1994)
請求記号 080/I-R(3階新書・文庫)



書名 「遊ぶ」が勝ち:
「ホモ・ルーデンス」で、君も跳べ!
編著者名 為末 大
出版社 中央公論新社(2013)
請求記号 080/CL(3階新書・文庫)



書名 砂漠
編著者名 伊坂幸太郎
出版社 新潮社(2010)
請求記号 913.6/I 68(3階一般図書)



書名 オトす技術: カレもカノジョも上司もお客さんもみんな振り向く心理学
編著者名 大谷由里子, 武田和久
出版社 佼成出版社(2013)
請求記号 141.6/O 84(3階一般図書)



書名 食堂かたつむり
編著者名 小川 糸
出版社 ポプラ社(2008)
請求記号 913.6/O 24(3階一般図書)

首都決戦への道のり



商・4年 重年 孝志さん
 人文・1年 住谷 智貴さん
 法・3年 大宮 剛一さん
 人文・4年 上野 高智さん
 人文・2年 中野 歩美さん
 人文・2年 松木 美緒さん

チャンプ本に選ばれた上野さんにビブリオバトルの感想を聞いてみました。

参加してみてどうでしたか?
 思っていたより楽しくてよかった。他の人の発表を聞いて、自分の準備が十分ではなかったので、地区決戦ではもっと準備して臨みたい。自分のまわりに本を読む人があまりいなかったため今日の出会いを大切にしていきたい。
 ※11月3日(日)に行われた広島・山口地区決戦大会の結果は惜しくも敗れてしまいましたが、トップバッターでありながら物怖じせず参加者の笑顔を誘う余裕で、一気に会場の空気を暖めてくれました。



書名 イニシエーション・ラブ
編著者名 乾くるみ
出版社 文藝春秋(2007)
請求記号 913.6/I 59(3階一般図書)

観戦者の声はこちら!

- どのバトルの本も読んでみたくなった。
- 普段、触れないようなジャンルの本にも触れられる貴重な機会になりました。
- 機会があればバトル者として参加してみたい。
- ディスカッションが白熱していたことが印象に残った。
- また、観戦したいです!
- バラエティーに富んだ選書でおもしろかった。
- 普段、あまり本を読まないがこれを機にもっと様々な本を読みたいと思った。

ビブリオバトル入門書籍

「ビブリオバトル入門 本を通して人を知る・人を通して本を知る」
 ビブリオバトル普及委員会【編著】 谷口 忠大【著】
 3階一般図書 019/B 41

「ビブリオバトルー本を知り人を知る 書評ゲーム」
 谷口 忠大【著】
 3階一般図書 019/Ta 87

ビブリオバトル公式サイト
<http://www.bibliobattle.jp/>

ブックハンティング 2013 を行いました。

本年度2回目となるブックハンティングを11月8日(金)17時~19時に、紀伊國屋書店広島店(アクア広島センター街6F)で行いました。今回は22名の参加があり、488冊もの本が選ばれました。

選ばれた本は、現在、図書館展示コーナーにて展示しております。今まで本学図書館になかった本ばかりです。どうぞ手にとりご覧になってください。(貸出も可能です。)

なお、2014年度もブックハンティングを行う予定です。興味のある人は、ぜひ、図書館カウンター職員にお尋ねください。(詳細が決まりましたら、図書館ホームページや掲示物等でもお知らせします。)



ブックハンティングとは

皆さん自身が書店に行って、図書館にあったらいいと思う本を選ぶことができる選書システムです。

本学の学生であれば誰でも参加できます。

ブックハンティングに参加する際の注意事項

- 流行に流されず図書館に長期的に所蔵することを考え選書する。(学部・ゼミで共有できる専門書。学部に関連する入門書。レポートや卒論に役に立つ本など。)
- 図書館にすでにある本は購入できない
- 雑誌や漫画等は、基本的に購入できないなどがあります。



参加してみてどうでしたか？

自分の見てみたい本を選んで購入していただけるのは、とても贅沢なことでした。楽しかったです。(法学部3年)

自分では手が出せないものに手を伸ばすことができました。(法学部3年)

最初はどうかと思ったけど、意外にとっても楽しかった。(人間環境学部4年)

初めて参加しましたが、多くの本に会うことができ大変貴重な体験となりました。楽しかったです。(法学部3年)

Library Information

info
1

春季休暇中の長期貸出について

1月20日(月)から春季長期貸し出しを行います。1年次生から3年次生までの皆さんは、4月11日(金)が返却期限日です。たっぷり時間がありますから、たくさん借りてたくさん読めますよ。4年次生以上の皆さんは2月18日(火)の卒業年次生成績発表2日目が返却期限日です。予めご了承ください。なお、2月19日以降は卒業まで2週間の通常貸出を行います。

info
2

1月の開館について

図書館では、1月と7月の試験期に土日の開館時間を延長しています。11日と25日の土曜日は9:15～17:30、12日と26日の日曜日は10:00～17:00と普段より1時間ずつ延長します。また12日と26日の日曜日は自由閲覧室も3時間延長し、19:00まで利用できるようになります。

なお、後期試験が滞りなく終了した場合は、1月29日(水)の開館時間を9:15～16:30に変更します。

1月は上記以外にも開館が変則的です。1月13日(月)の成人の日は10:00～17:00開館します。M2階自由閲覧室は10:00～19:00の間、開館します。

1月17日(金)はセンター入試準備のため、16:30に閉館します。なお、M2階自由閲覧室は19:00まで利用可能です。

1月18日(土)と19日(日)はセンター試験のため休館します。

図書館来館の際は、開館カレンダーを見て開館時間や閉館日にご注意ください。

info
3

配架先変更のお知らせ

第1研究棟解体に伴い、3階貴重書庫がなくなりました。

それにあわせて、資料の配架先を変更しましたのでお知らせします。

	変更前	変更後
貴重書 (和書・洋書)	3階貴重書庫	2階貴重書庫 (マイク口室集密)
明治法曹文庫	1階書庫 (明治法曹文庫)	2階明治法曹文庫 (マイク口室集密)
グルマン法 コレクション	1階書庫 (明治法曹文庫)	2階明治法曹文庫 (マイク口室集密)
レコード	3階貴重書庫	1階書庫 (準貴重書)



こんな本が やってきました

No.32

『2階参考図書』のコーナーを知っていますか？

事柄や意味を調べるための辞書・辞典類が配架されているこちらのコーナーは、データベースや電子辞書の普及により、近頃ではあまり注目されることのない本棚かもしれません。しかし、本棚に並んでいる本をよく見てみると…何だか面白そうな本を見つけました。

『日本怪異妖怪大事典』 小松和彦 [ほか] 編集委員 (東京堂出版)

『日本怪異妖怪大事典』は、「もののけ」「化け物」の伝承世界を1300余の項目に網羅集成した事典です。「座敷童」や「貧乏神」などの古くから伝わる妖怪や、「口裂け女」など有名な都市伝説の妖怪はもちろん、「甘酒婆(アマザケババ)」のように初めて耳にするようなヘンテコな名前の妖怪の説明も掲載されています。また、妖怪そのもののみならず、「怪異」と呼ばれる現象についての説明もあり、一世を風靡したオカルトな現象の噂などを調べることもできます。

項目は怪異・妖怪隔たりなく五十音順に配列されているので、調べたい事柄を探し出すのが容易です。3種類ある巻末の索引も、多角的に活用できます。

怪異・妖怪名彙要素索引を見ると、どんなキーワードを持った怪異・妖怪が多いのか一目瞭然ですし、別称・類似現象索引は現象に様々な呼び名があることを知ることができ、知識を深めることができます。事例地名索引からは、各地域にまつわる怪異・妖怪を知るきっかけとなり、この分野に馴染みのない方でも楽しめる大事典です。

この機会にぜひ、図書館の「2階参考図書」コーナーへお立ち寄りください。『日本怪異妖怪大事典』を始め、皆さんにとって興味深い知識を与えてくれる本に出会えますよ。



※「2階参考図書」コーナーの資料は禁帯出のため、館外貸出はできません。館内で閲覧してください。

●請求記号：388.1/N 71
●配架場所：2階参考図書

開館カレンダー

2014 1 JANUARY							2014 2 FEBRUARY							2014 3 MARCH							
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRY	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRY	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRY	SAT	
			1	2	3	4							1								1
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6 [*]	7 [*]	8	2	3 [*]	4 [*]	5 [*]	6 [*]	7 [*]	8	
12	13	14	15	16	17 [*]	18	9	10 [*]	11	12 [*]	13 [*]	14 [*]	15	9	10 [*]	11 [*]	12 [*]	13 [*]	14 [*]	15	
19	20	21	22	23	24	25	16	17 [*]	18 [*]	19 [*]	20 [*]	21 [*]	22	16	17 [*]	18 [*]	19 [*]	20 [*]	21 [*]	22	
26	27	28	29	30 [*]	31 [*]		23	24	25 [*]	26 [*]	27 [*]	28	23	24 [*]	25 [*]	26 [*]	27 [*]	28 [*]	29		
														30	31						

※センター入試準備のため16:30閉館。

*講義のある期間は、日曜日でも開館します。

	休館日 (自由閲覧室利用不可)		休館日 (自由閲覧室利用可 8:45 ~ 21:30)		休館日 (自由閲覧室利用可 8:45 ~ 19:00)
--	--------------------	--	--------------------------------	--	--------------------------------

●開館時間

	開館時間 8:45 ~ 21:30 自由閲覧室 8:45 ~ 21:30		開館時間 9:15 ~ 16:30 自由閲覧室 ☆8:45 ~ 19:00 自由閲覧室 ★8:45 ~ 21:30		開館時間 10:00 ~ 16:00 自由閲覧室 10:00 ~ 16:00
	開館時間 9:15 ~ 12:30 自由閲覧室 8:45 ~ 19:00		開館時間 9:15 ~ 17:30 自由閲覧室 8:45 ~ 21:30		開館時間 10:00 ~ 17:00 自由閲覧室 10:00 ~ 19:00

●休館日

夏季・冬季・春季休暇中の日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日（海の日・成人の日を除く）
開学記念日（11月4日）・年末年始（12月29日～1月3日）・整理休館日・入試期間中

※開館時間の変更や臨時休館日については、その都度、HPが掲示でお知らせします。



ここからもアクセスできます

返却期限の過ぎている
図書はありませんか？

忘れないうちに、
窓口がブックポストまで…

発行・編集：広島修道大学図書館

■発行日：2014年1月1日

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東一丁目1-1

Tel: 082-830-1112 Fax: 082-830-1964

URL: <http://www-lib.shudo-u.ac.jp>

E-mail: tosh@js.shudo-u.ac.jp

次号は
4月1日
発行予定
です